

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：兵庫県 南あわじ市

◆コンセプト：人生100年貢献できる働ける改革の推進

南あわじ市においても、急激な人口減少と超高齢化社会が進んでおり、この状況を克服するにあたり、高齢者の方々がいつまでも健康で仕事や社会貢献活動を継続することにより、現役で活躍し続ける社会の実現を目指す。

<特徴>

高齢者の体力や生活スタイルに応じて多様な分野で活躍できるよう、高齢者向けに仕事やボランティア活動の切り出しを推進他、活躍のための学び支援、総合相談窓口を含めて、体系的・総合的に事業を展開。



小学校での給食の片付け



小学校での花壇の手入れ



協定の締結



成果報告会の開催

- 基礎データ**
- ・人口：44,795人（R5.3月末時点）
 - ・平成30年度から地方創生推進交付金を活用し事業を実施
 - ・平成31年度に生涯活躍推進室を設置
 - ・令和2年2月、シルバー人材センターと「高齢者の社会参加促進に関する協定」を締結
 - ・令和3年3月、成果報告会を開催し、地方創生推進交付金を活用した取組結果を発表

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- いきいき百歳体操
- ふれあい・いきいきサロン



【今後の展開】

- 住民主体の介護予防活動の新たな会場・参加者の増加に向けた支援や、高齢者の社会参加を拡大するなど地域と一体となったまちづくりを推進

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- おもいやりポイント制度
- 働くシニア応援プロジェクト
- 生涯現役カレッジ
- シニアの生涯活躍総合相談窓口



【今後の展開】

- 人手不足で悩む各種施設での有償ボランティア活動に加え、地域課題の解決など活躍の場の拡大を検討・実施
- 公募した市内モデル事業者と高齢者の雇用分野拡大を推進

「健康」

【主な取組内容・進捗状況】

- 町ぐるみ健診
- 食育チャレンジ事業
- 地域医療の充実



【今後の展開】

- 健康への意識を高め、自ら健康づくりに積極的に取り組み健康寿命を延伸
- 小学生の「早寝、早起き、朝ごはん、朝トイレ」による健康の基礎づくり
- 休日夜間医療、小児救急医療、市国保診療所など地域医療体制の充実

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- 空き家バンク制度
- 定住促進空き家活用支援事業
- マイホーム取得事業



【今後の展開】

- 空き家バンク制度や利活用への支援により市内にある空き家の有効活用を促進
- マイホーム取得補助など転入促進施策の実施により本市への移住・定住を促進

コミュニティへの人の流れ

- 多世代同居・近居支援事業補助金
多世代で同居や近居をする方への支援により家族の絆の再生及び地域の共助を促進
- 移住支援補助金・奨励金
移住世帯への支援により定住・地域の活性化を促進

その他特徴的な取組

- 地域づくりチャレンジ事業
商店街の活性化や地域住民のフレイル予防など地域課題の解決に対して、地域が一丸となって取り組む事業を市が応援